

第10回 安心・安全なメタバースの実現に関する研究会 【VRとリアルの相互作用】

株式会社 大丸松坂屋百貨店
DX推進部デジタル事業開発部
メタバース事業担当
福澤 滉也

大丸松坂屋百貨店メタバース事業について

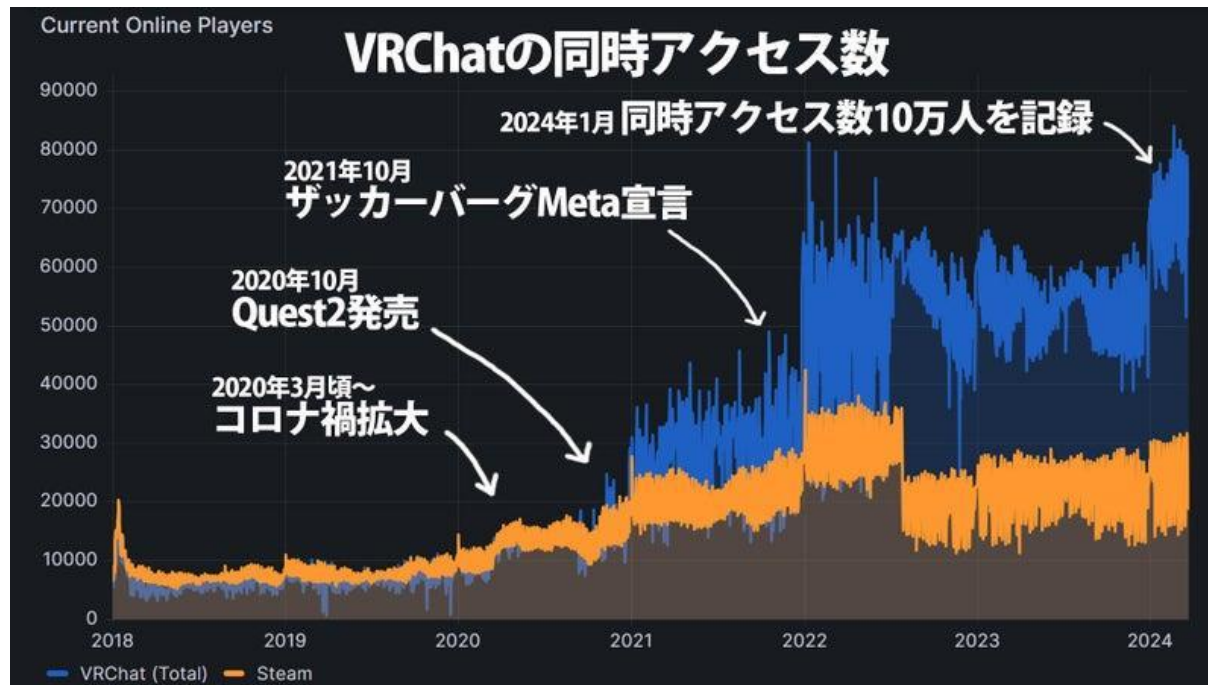
1-1.大丸松坂屋百貨店メタバース事業について

2023年10月よりVRChat向けの自社オリジナル3Dアバターの販売を開始。
2024年3月までの半年間で“正装”をコンセプトにした12体のアバターを展開し、メタバース空間でのファッションを楽しんでもらえるよう3D衣装の販売も行っている。
BtoB領域にも事業を拡大し、企業・自治体様のメタバース進出支援を行っている。



2.VRChatのユーザー数

VRChatユーザーは年々増加しており、全世界で約1000万人いるとされている。
そのうち27.8%は日本人ユーザーとされており、約250万人ほどが日本人ユーザーである。



Country	Traffic Share	Change
United States	41.01%	↓ 8.91%
Japan	27.08%	↑ 8.01%
Russia	2.12%	↓ 22.96%
United Kingdom	1.97%	↓ 11.17%
Germany	1.83%	↑ 0.76%

出典：VRChat同時アクセス10万人突破！5年で人口7倍に！メタバース人口統計レポート【2024年3月最新】

出典：<https://nwn.blogs.com/nwn/2024/10/vrchat-demographics.html>

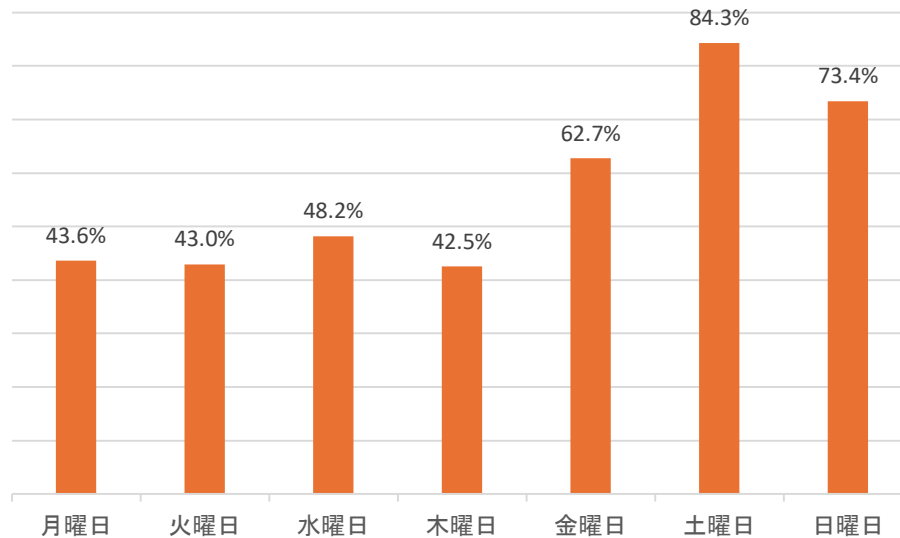
3.VRChat民のメタバース空間での生活

2024年7月～8月に開催されたVirtual Market 2024 Summerの期間中、当社ブースでアンケートを実施（N数：440）

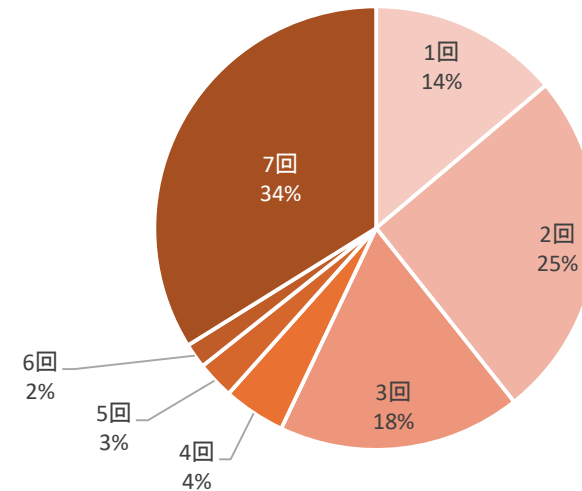
1週間のうち毎日VRChatにアクセスするユーザーが34%以上いる

＝VRChatはメタバース空間で生活しているユーザーが多いプラットフォーム

よくアクセスする曜日



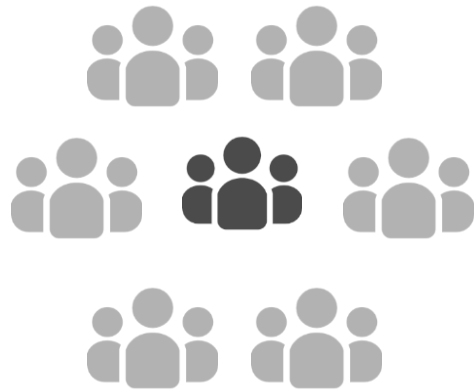
1週間でアクセスする回数



4.VRChatを活用したコミュニティマーケティング

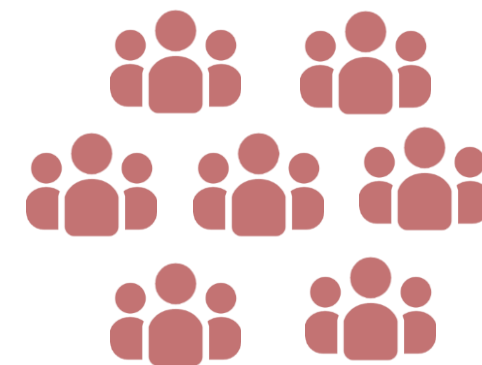
VRChatでは、ユーザーはVRChat内でのフレンドとの会話や複数人で何かしらのアクティビティをする「集会」などをすることを目的とした利用者が多く、自ずと同じような価値観・嗜好の人同士のコミュニティが形成されやすい

一般的な
ファンコミュニティ



提供する商品やサービスのみがコミュニケーションの軸となり派生しづらい土壌

VRChatを活用した
ファンコミュニティ



アバターの姿で活動し、活動の中心がコミュニケーションであり、フレンドがいるインスタンスにJoinしやすい風土のため、他のコミュニティに伝播しやすい土壌がある

5.大丸松坂屋百貨店メタバース事業について

自社の オリジナルアバター販売



メタバース空間で生活しているユーザーやコミュニティに向けて商品やサービスを提供

他社様の メタバース進出支援



大丸松坂屋百貨店



メタバース空間で生活しているユーザーやコミュニティにアプローチしたい企業・自治体を支援

事例紹介①



1.(勝手に)ヨコスカツアー

横須賀集客促進・魅力発信実行委員会(事務局:横須賀市)との共催でツアーを企画

- 2024年11月6日(水)21:00~23:00 メタバースヨコスカツアー 参加条件・上限なし
- 2024年11月9日(土)10:30~19:00 リアル横須賀ツアー 抽選で5組10名様を招待



2.(勝手に)ヨコスカツアー

メタバースヨコスカ

横須賀市観光課職員による解説付きツアーVRChat上で開催。
リアル横須賀ツアーの予習として参加される方も。



リアル横須賀

横須賀市の学芸員やスカジャン絵師、ガイドによるツアーを開催。抽選で10名が参加。
参加者の中には群馬や岡山からの参加者もいた。



3.(勝手に)ヨコスカツアー オフ会

リアル横須賀ツアー開催日の夜に横須賀のHONEY BEEでオフ会を開催
40名が参加し、横須賀グルメのネイビーバーガーを提供



メタバースヨコスカで事前に横須賀情報をインプットし、食というリアルでしか体験できないことも内容に含めることで、リアルでの顧客満足度も向上。ツアー終了後にもメタバースヨコスカを訪れ、さらに好きになる。

=MMO (Metaverse Merges with Offline)

事例紹介②



1.バーチャルフォトグラフィーとは

バーチャル空間内でカメラギミックを使用し撮影したもの(≠スクリーンショット)
アバターやアセット、ワールドを被写体とし撮影したものを、現実世界の作品と同じようにレタッチをし、同じようにフォトグラファーとして活動をする方がいる



24年5月に恵比寿で大丸・松坂屋アバターのバーチャルフォトの展示会を開催



VRとリアルを合成した写真などもあり、表現活動の幅も広がっているといえる